

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～ 令和2年3月31日)

1 基本情報

施設名称	千葉市若葉区千城台コミュニティセンター
条例上の設置目的	千葉市コミュニティセンター設置管理条例(抄) (設置) 第1条 本市は、市民のコミュニティ活動のための施設として、コミュニティセンターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	コミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することで、市民主体の住みよいまちづくりを推進すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動の場を低廉な料金で安定的に供給すること。 ・地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施すること。 ・コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となること。
制度導入により見込まれる効果	公の施設の管理運営に民間事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上や管理経費の縮減につなげる。
指定管理者名	ちばアートウインド運営企業体
構成団体 (共同事業者の場合)	Fun Space株式会社 株式会社パシフィックアートセンター 株式会社千葉共立 株式会社ハンズオン・エンタテインメント 株式会社オーチャー
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年)
所管課	若葉区地域振興課

2 成果指標等の推移

(1) 施設稼働率(諸室)(成果指標1)

	28年度	29年度	30年度	31年度	合計
実績値	34.0%	45.4%	39.7%	37.7%	39.2%
数値目標※	38.0%	38.5%	39.0%	39.5%	38.8%
達成率	89.5%	117.9%	101.8%	95.4%	101.2%

(2) 施設利用者数(スポーツ施設)(成果指標2)

	28年度	29年度	30年度	31年度	合計
実績値	4,533	9,376	12,757	11,431	38,097
数値目標※	4,900	4,950	5,000	5,050	19,900
達成率	92.5%	189.4%	255.1%	226.4%	190.9%

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	28年度	29年度	30年度	31年度	合計
七夕まつり参加人数	662	1,213	2,739	3,888	8,502
コミュニティまつり参加人数	6,797	3,423	4,482	5,713	20,415
こどもまつり参加人数	492	426	1,202	2,180	4,300

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	88,367	86,319	85,328	86,808	346,822
			計画	88,367	86,319	85,328	86,557	346,571
		利用料金	実績	5,190	7,754	7,682	7,089	27,715
			計画	5,540	5,604	5,668	5,748	22,560
		その他	実績	1,947	2,095	2,094	2,220	8,356
			計画	2,070	2,070	2,070	2,089	8,299
	合計	実績	95,504	96,168	95,104	96,117	382,893	
		計画	95,977	93,993	93,066	94,394	377,430	
	支出	実績	83,644	86,820	84,576	84,162	339,202	
		計画	95,977	93,993	93,066	94,394	377,430	
収支	実績	11,860	9,348	10,528	11,955	43,691		
自主事業	収入	実績	276	918	946	1,028	3,168	
		計画	359	347	973	1,037	2,716	
	支出	実績	816	1,350	1,239	1,346	4,751	
		計画	847	831	1,328	1,352	4,358	
	収支	実績	△ 540	△ 432	△ 293	△ 318	△ 1,583	
総収入	実績	95,780	97,086	96,050	97,145	386,061		
総支出	実績	84,460	88,170	85,815	85,508	343,953		
総収支	実績	11,320	8,916	10,235	11,637	42,108		
利益の還元額	実績	0	0	0	0	0		
利益還元の内容		-	-	-	-	-		

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	B	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営の基準の水準を上回る優れた運営を実施。 スポーツ施設（トレーニング室）については平成29年度より数値目標を大きく上回り、直近の年度においても200%を超える利用率となっている点は評価できる。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	<ul style="list-style-type: none"> 概ね管理運営の基準通りの運営を実施。 市の指定管理料の支出は選定時の提案額とほぼ同額で推移している。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	<ul style="list-style-type: none"> 概ね管理運営の基準通りの運営を実施。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	<ul style="list-style-type: none"> 概ね管理運営の基準通りの運営を実施。
(2) 施設の維持管理業務	C	<ul style="list-style-type: none"> 概ね管理運営の基準通りの運営を実施。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	<ul style="list-style-type: none"> 概ね管理運営の基準通りの運営を実施。 幅広く情報を発信することを心掛け実施していた点は評価できる。
(2) 利用者サービスの充実	C	<ul style="list-style-type: none"> 概ね管理運営の基準通りの運営を実施。 利用者への親切・丁寧な対応を徹底しており、利用者アンケートの結果も概ね高評価である。
(3) 施設における事業の実施	C	<ul style="list-style-type: none"> 概ね管理運営の基準通りの運営を実施。 老若男女問わず様々な方が参加できるイベントを実施している点は評価できる。
6 その他 （市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮）	C	<ul style="list-style-type: none"> 概ね管理運営の基準通りの運営を実施。 障害者の雇用については、平成29年10月以降は雇用が0名であり、雇用の確保を検討されたい。

総合評価	B
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動の場を安定的に供給することができ、地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施し、コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となることについては一定程度の達成ができた考える。 ・概ね管理運営の基準通りの運営を実施することができ、コミュニティ活動を促進するという目標を概ね達成することができたと考えるため。
--

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

<ul style="list-style-type: none"> ・特になし

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> 市の作成した総合評価案の妥当性について ア 市の作成した総合評価案の内容は、妥当であると判断される。 イ 指定管理者制度の導入効果や課題等を踏まえた制度継続の検討、その他改善点等について <ul style="list-style-type: none"> (ア) 指定管理者制度の導入効果として、当初見込んでいた効果がおおむね達成できており、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。 (イ) 自治会や学校への意欲的な広報活動により、子どもまつり、七夕まつりなどへの参加者が大きく増えている点が評価できる。 (ウ) 障害者の雇用が現状無いため、雇用の確保について、積極的に取り組まれない。
--